最初に『安全にお使いいただくために』を必ずお読みください。 操作早見表には、本製品に関する基本的な操作手順と情報を記載しています。すぐご覧いただけるよう、 大切に保管してください。

詳しくは、取扱説明書を参照してください。

取扱説明書はじめそのほか説明書は、サポートサイト(ブラザーソリューションセンター) (http://s.brother/cmoaf/)からダウンロードすることができます。





### STEP 1 マットと刃を選ぶ

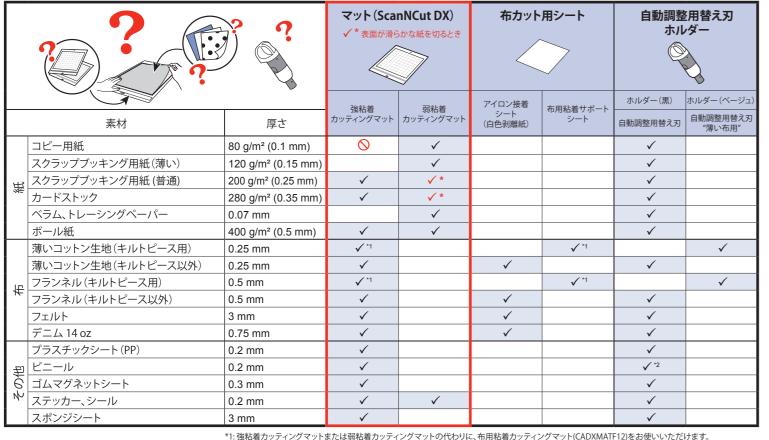


カットする素材を準備します。

次の表を参照して、素材に適した マットと刃を選びます。

#### お知らせ・

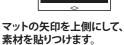
- 本製品に同梱された替え刃ホルダーは、自動調整用替え刃ホルダーです。 自動調整用替え刃ホルダーを使うと、素材の厚みを検知して最適な刃の出量 を自動で調整します。
- ScanNCut DX専用のマットを使用してください。
- 素材のカットに必要なアクセサリーがお買い上げいただいた製品に付属して いない場合は、別売品を購入してください。



\*2:小文字カット用キット(CADXVBKIT1)およびディズニー小文字カット用キット(CADXVBDSNKIT1)に付属の小文字カット用ホルダーもお使いいただけます。

### 「STEP 2 】 素材をマットに貼る

ラメや金属箔など、表面から剥離しやすい装飾が施された素材は、使用を避けてください。そのような素材を使用した場合は、スキャナーガラスを掃除してください。





保護シートをはがします。 \*保護シートは捨てずに保管してく



素材をマットに貼る前に、素材 とマットの接着力が適切かを 確認するために、マットの接着 面の端を使って試し貼りをして ください。



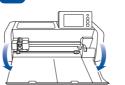
マットの接着面に問題がなけ れば、素材を貼ります。



むらなくしっかりと貼るため に、素材をマットに押し付け

## 「STEP 3 】 ホルダーを取り付ける

D01MJE-001



本体に電源コードを取り

付け、フロントトレイカバ

ーを開けます。

リアトレイを引き出し ます。



電源を入れます。



保護キャップを取り外し ます。



つまみ部分をつかんで、 ホルダーをキャリッジに 差し込みます。

ホルダー固定レバーを 押し下げます。

#### 模様を選ぶ STEP 4



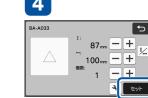
「模様」を選択します。



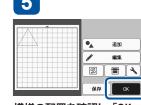
模様カテゴリを選択します。



模様を選択します。



模様のサイズや個数を確認 し、「セット」キーを押します。

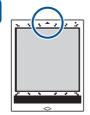


模様の配置を確認し、「OK」 キーを押します。

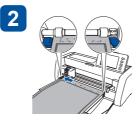
#### お願い・

• カットを開始する前に、裏面の「試し切り(きれいにカットするために)」を参照して試し切りをしてください。

### マットを挿入してカットする



マットの矢印を上側にして、 マットを挿入します。



搬送スロットの左右にあるガイド に合わせてマットの先端をロー ラーの下に差し込みます。



マットの真ん中に手を軽く置き、 マットを軽く前方に押しながら 操作パネルの「送りボタン」を押 します。



プレビュー画面の「選択してください」キーから「カット」を 選択します。





「スタート」キーを押して、 カットを開始します。



カットが完了したら、「OK」 キーを押します。



操作パネルの「送りボタン」を 押して、マットを排出します。



素材をはがします。



切り出した模様をスパチュラで はがします。

\*マットを使用した後は、保護シートを貼っ

## ■ 布カットの基本

「マットと刃を選ぶ」の表を参考にして、布をカットするときはアイ ロン接着シート、布用粘着サポートシート、または布用粘着カッテ ィングマットを使用してください。詳しい使用方法については、アイ ロン接着シート、布用粘着サポートシート、または布用粘着カッテ ィングマットに付属している説明書を参照してください。お買い上 げいただいた製品に付属していない場合は、別売品のアイロン接 着シート(CASTBL1)、布用粘着サポートシート(CASTBL2)、または 布用粘着カッティングマット(CADXMATF12)を購入してください。

#### アイロン接着シート

- 布を補強することで、さまざまな模様がカットできます。
- 布の裏面に接着シートが残るため、布の風合いが変化することがあります。
- \* 強粘着カッティングマットを使用してください。裏面にアイロン接着シートを貼った 布を、布用粘着サポートシートを貼ったマットに貼らないでください。

#### 布用粘着サポートシート

- 強粘着カッティングマットに貼ると、マットの粘着力が高まります。
- カットの結果は、選んだ模様の形によって異なります。

#### 布用粘着カッティングマット

• このマットを使うときは、布用粘着サポートシートは不要です。

### ■ スキャン機能

画像や写真、自分で描いたイメージ画などをスキャンして、オリジナルカットデザインを作成できます。作成したデザインをカットしたり、データとして保存したり することもできます。

#### ダイレクトカット

オリジナルの手描きイラストなどをスキャンして、その外形をカットできます。





#### カットデータを作成する

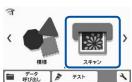
オリジナルの手描きイラストなどをスキャン して、本製品でカット/ドローするためのカ ット線へ変換したのち、データとして保存す ることができます。

\* 詳しくは、取扱説明書を参照してください。



### ダイレクトカット(模様のスキャンとカット)









「ダイレクトカット」を選択 します。

3



カットデータの作成先を選択 します。



▼ を押して、スキャンの設定 を選択します。

5



素材(スタンプを押した紙、印 刷した紙やステッカーなど)を マットに貼りつけます。



搬送スロットの左右にあるガイドに 合わせてマットの先端をローラー の下に差し込みます。



マットの真ん中に手を軽く置き、 マットを軽く前方に押しながら 操作パネルの「送りボタン」を押 します。





「スタート」キーを押して、スキャン を開始します。





「OK」キーを押します。





カットしたい範囲に合わせたら、 「プレビュー」キーを押してから 「OK」キーを押します。





「OK」キーを押します。

12



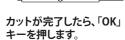


プレビュー画面の「選択してください」キーから「カット」を選択します。





「スタート」キーを押して、 カットを開始します。

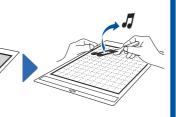




操作パネルの「送りボタン」を 押して、マットを排出します。



素材をはがします。



切り出した模様をスパチュラ ではがします。

# 試し切り(きれいにカットするために)

実際の作品をつくる前に、使用する素材を使って、試し切りまたはペンやインクを使った試し書き(ドロー機能)をして、きれいにできるかを確認してください。 きれいにできたら、同じ素材を使って作品づくりを進めます。



プレビュー画面で「カット」を選択して から、「テスト」キーを押します。 ▶試し切り用の模様が右下に配置 されます。



試し切り用の模様が、作品の模様 と重なっていないことを確認しま す。テスト模様の配置を変更する ときは「⇔」を押します。



変更が終わったら、「OK」キーを 押します。



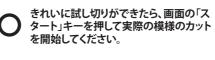


「スタート」キーを押して、試し切 りを開始します。





試し切りが完了したら、マットを排出 せずに、カットした部分の素材をめく って、試し切りの結果を確認します。



きれいに試し切りができなかった場合は、 5 の手順に従って設定画面で圧力の設 定値を調整し、再び試し切りを行ってくだ





「もう一度テストする」キーを 押します。





試し切り用の模様を別の場所 に移動するときは、「◆」を押し



▼を押して、カット圧力を調整

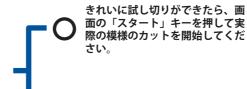


以下の表を目安に、試し切りの結 果に合わせてカット圧力を調整し、 「OK」キーを押します。

# 8



「スタート」キーを押して、試し切 りを開始します。



きれいに試し切りができなかった場 合は、手順 5 を参照して、再び試し 切りを行ってください。

試し切りの結果	調整方法
模様の一部がカットされていない。	圧力が弱い:設定画面で + を1回押して圧力を上げてください。
模様全体がカットされていない。	圧力が弱い:設定画面で + を1回押して圧力を上げてください。
マットの裏面までカット線が入っている。	圧力が強い:設定画面で - を1回押して圧力を下げてください。



#### ■ ScanNCutをもっと活用する

次のサイトでは、CanvasWorkspaceを使ってScanNCutをもっと活用するための方法や、模様データを自由に編集する方法など、たくさんのコンテンツを紹介しています。



CanvasWorkspace

http://CanvasWorkspace.Brother.com

